

経鼻インフルエンザワクチンを導入します

当院では、2026 年度より鼻にスプレーするタイプのインフルエンザワクチン（経鼻弱毒生インフルエンザワクチン）を導入いたします。

注射ではなく、左右の鼻にワクチンを噴霧して接種します。

針を使用しないため注射による痛みがなく、2 歳以上 19 歳未満の方は 1 回の接種で完了します。国内で承認されている用法は、左右の鼻腔に 0.1mL ずつ、合計 0.2mL を 1 回噴霧します。

■経鼻ワクチンの特徴

- **注射による痛みがありません**：左右の鼻にワクチンを噴霧して接種するため、針を使用しません。注射が苦手なお子さまにも選択肢となります。
- **1 回の接種で完了します**：2 歳以上 19 歳未満の方が対象で、年齢にかかわらず 1 回接種です。
- **鼻の粘膜にも免疫応答を誘導します**：経鼻弱毒生ワクチンは、血清抗体だけでなく、鼻粘膜における抗体応答などを誘導する特徴があります。

※従来の注射型ワクチンより予防効果が高いという意味ではありません。現時点では、どちらか一方が一貫して優れているとは結論づけられていません。

■当院での対象年齢・接種方針

ワクチン	対象	当院での方針
経鼻ワクチン	2 歳以上 19 歳未満	接種可能（1 回接種）
注射型ワクチン	13 歳以上	接種可能（1 回接種）
13 歳未満で注射型をご希望	—	他の医療機関での接種をお願いいたします

主な副反応

接種後に、鼻水・鼻づまり、咳、のどの痛み、頭痛、発熱などがみられることがあります。

また、頻度は非常に低いものの、ワクチン全般と同様にショック・アナフィラキシーなどの重大な副反応が起こる可能性があります。

接種できない方

- 明らかな発熱がある方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- 明らかな免疫機能異常がある方
- 免疫を抑える治療を受けている方
- 妊娠している方
- その他、医師が接種不相当と判断した方

接種前にご相談いただきたい方

重度の喘息や喘鳴がある方、ゼラチンに対する過敏症の既往がある方、基礎疾患のある方などは、接種について慎重な判断が必要です。接種前に医師へお申し出ください。

接種後の注意

経鼻ワクチンは生ワクチンのため、接種後にワクチンウイルスが鼻咽頭から排出されることがあります。

接種後 1～2 週間は、重度の免疫不全がある方との密接な接触を可能な限り避けてください。

ご予約について

経鼻ワクチンは完全予約制です。 入荷数には限りがありますので、ご希望の方は当院 WEB 予約システムよりご予約ください。原則キャンセルはできません。

対象	2 歳以上 19 歳未満
接種回数	1 回
接種方法	左右の鼻に 0.1mL ずつ噴霧（合計 0.2mL）
料金	8800 円（税込）

※体調や既往歴、服用中のお薬などによって接種できない場合があります。

※接種当日は医師が診察のうえ、接種可能か判断いたします。

※ワクチンを接種してもインフルエンザの発症を完全に防ぐことはできません。

・ 参考情報

本ページは、厚生労働省および PMDA（医薬品医療機器総合機構）が公表する情報をもとに作成しています。

作成：2026 年 8 月 かじがや耳鼻咽喉科